

## 執筆者紹介

かんぼら さいし  
神原 理 本学商学部教授

こぼやし さいし  
小林 守 本学商学部教授

## 〈編集後記〉

月報 724 号をお届けする。本号は、2 本の研究成果を所収している。

神原論文は、地方紙の報道内容を素材に、諏訪大社御柱祭について、「観光化・商品化」した 2016 年とコロナ禍によって「非観光化・商品化」を余儀なくされた 2022 年を比較検討する。その結果、地域の社会および経済的变化として、2016 年は「神事と観光の調和」をはかり、祭礼の史的・文化的意義の発信や観光による経済効果がみられたのに対して、2022 年および 2023 年は祭礼の規模を縮小する中で、祭礼の実施・維持のための工夫や協力などが必要だったことから地域の一体感をもたらし、地域の祭礼のあり方や「祭礼の真正性」を見直すことにつながったことを明らかにした。

小林論文は、報酬を伴う商業的な調査研究プロジェクトを、クライアントの目的の観点から類型化し、その類型ごとにプロジェクト遂行過程で発生する困難を具体的に示す。その上で、商業的調査研究プロジェクトの課題として評価のあり方を改善することと、プロジェクトマネージャーをエンパワーすると同時に支援することの必要性を指摘する。

いずれの論文も、先行研究においてあまり取上げられてこなかったものである。投稿をしていただいたお二人に深く感謝を申し上げる。 (S)

---

2023 年 10 月 20 日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田 2 丁目 1 番 1 号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 株式会社グラフィカ・ウエマツ

新宿区下落合 4-21-19 目白 LK ビル 3F 電話 (03)6915-3835

---